

皆様

平成 25 年 12 月 12 日

今日は、この合同調査のフィリピン側のパートナーである、デ・ラサール大学との協議、フィリピン地図局(The National Mapping and Resource Information Authority : NAMRIA)での資料収集、JICA フィリピン事務所での協議を行いました。

デ・ラサール大学では、工学部長、土木工学科長を含む土木工学系の教員に対して調査結果の報告とそれに関する協議を行いました。その後、副学長(土木工学系出身)とも面談をし、調査結果の報告を行うとともに、今後の研究協力についても話し合いを持ちました。NAMRIA では、今後の研究活動に必要なとなるレイテ湾およびサンベドロ湾の海図およびタクロバン市周辺の地形図を収集しました。

JICA フィリピン事務所では、台風災害対応で現地に派遣されている支援ニーズ調査団(JICA、国交省、コンサルタントにより構成)に対し、調査結果を報告するとともに、必要なデータの提供を行いました。協議において、支援活動や研究活動に必要な情報はお互いで共有し有効に利用していくことが確認されました。

調査も残すところ 1 日となりました。あと 1 日、事故の無いよう注意して調査を続けて行きたいと考えています。

松丸 亮(調査隊長代行)